

2013.8.31(日) 『アースデイ東京2014に向けたミーティング @cafe Slow』のまとめ(その1)

■アースデイの魅力

- 多種多様な団体が出店している。
- 多様性　■多種多様
- 来場する方が子どもから年配まで幅広い
- 色々な団体・個人での活動を知ることが出来る。
- NPO、NGO環境系の企業やショップなどが隔たりなく一堂に集う場
- 市民・企業・NPO・NGO・アーティスト・農民・行政などジャンルを超えてコラボ
- 知らない人とのつながりを持てる。
- NPOなど目的を持った人と出会えた。
- 仲間ができる
- 土と出会えた。
- スタッフに知り合いが多い＝vosionを共有している人と必ず会える。
- 気持ちのシェア
- アースデイ全体のスタッフさんは一体化して、協力しあっていて、普段の生活や仕事でもそんな状態になれば素敵だと思った。
- J-Wave XchangeのDJと当日スタッフでかかわり物々交換をやりものを棄てずにゴミを出さず再び物が使われるシェア感が良かった。
- ボランティアを含む、多くの運営スタッフによって支えられている市民イベント
- 水平性
- 仲間と集まれる場
- 誰でも参加できる
- みんな参加できる
- 子どもと安心して共有できる
- フツーの人が、気軽に参加できる
- 世界的な広がり期待できる
- 毎年10万人を超える人々が集まる日本一の環境イベント。
- 東京の中心でイベントしても有名(うまく活用)
- 東京、日本の中心でやることの意味
- 大規模になって誰でも参加できる
- 実績がある＝信用がある
- 持続可能な社会の具体的なモデルがみられる。
- 持続性
- わかりやすく発信
- 身近な環境問題を取り上げている
- 気づきを広めていく
- 地球環境のことが学べる
- ライブ
- 市民レベルのイベントを開催できる
- 自分のやりたいことが見つかった
- 参加、体験することによって、意識的に続けている事ができる。
- NPOの人と直接話せるのがいい。
- みなさん、子どもにやさしい。
- SNSでつながれた
- 世界が広がった
- オーガニック、自然環境など知れる機会
- カドマンがいつも元気で楽しいアースデイ
- ひとつの企画に関する事を継続すると多くの出会いがある。
- LOVE&PEACEをベーストーンに実している。
- 環境にやさしい食べ物、モノ、人々に出会える場
- 様々な支援団体や活動をつながることができそう。
- 政党・企業から独立したムーブメント
- 理屈じゃなく右脳で楽しめる場！
- 影響力が大きい
- 多くの人が集まって環境や未来について考えることができる
- NoNuks、9条ハッキリいっていた。

- 年に一度想いを一つにして集まる場
- 誰でも実行委員会に入れるオープン性
- FreeStageが評価いい
- たくさん人が集まってパワーを感じる
- やる気と熱意のある人なら誰でも主体性として関われるオープンなところ
- 規模(参加の関口が広い)
- お店、ワークショップ、展示、バランスなく楽しめること
- 普段、目にしないモノが集まっている。
- 普段体験しないコトが集まっている
- 普段、知り合いになれないような人がいたり、思わぬところで再会したりする。
- 個人々々にいるより、社会的な声として影響を与えられる。多くの来場者
- ボランティアさんがたくさんいて、みんな笑顔
- いろんな種類の小さな力が集まって大きなイベントができたこと。
- 世界は人はつながっているナーと感じることができた。
- 色々な人、活動を知ることができて楽しい！
- 自分のやっている活動の紹介ができる
- ムーヴメントのトリガー、各活動の発表
- 持続可能な社会を目指す行動
- 都会人の意識を変えろきっかけ
- 社会を変えようとする力
- メインステージのお手伝い
- キッズプロジェクト、手づくり、おもちゃづくり
- ポトムアップで運営されている(ように見える)
- イベントそのものを楽しむための仕組みがたくさんあること
- 農業の大切さ
- 東北ブース
- 子どもたちに伝えていきたいイベント
- とにかく人が来る(市民のイベントとしては)
- 誰でも楽しくふらっと参加できるイベント
- 意識、関心の高い人たちが集まっているところが好き
- 平和をテーマに
- 小さい団体も、大きい団体も、どちらもフラットにがんばる
- 様々な団体や、生産者の方々と直接、交流を持つことができる
- 複数の団体がが一丸となって行うイベント
- 誰でも参加(平等)
- 1人ひとりが主役(民主的)
- ポトムアップ
- ただのマーケット市ではないところ
- 会場に未来に対する希望が感じられる
- 新しいつながりが見つかる
- 来た人たちが楽しく社会問題を考えられる場
- 参加型
- 音楽
- いろんな情報が落ちている気がする。
- ただでLIVE観れるし
- お洒落
- 集客力
- 世界のいろんなところで、やっている一体感がいいね。
- 誰でも対等な立場で参加発言できる
- 実践の場(エコ食器、テント設営)
- 気づきの場(知らないことを知る)
- アウトドアイベント(自然の厳しさ)
- たぶん動員されたりしない自由意思で取り組める。
- 1人で行動することは自分について気がつかないこと

が多く、他者の意見を参考に目的を成長できる

- 実行委員という形で約1年のミーティングをかけて一つのイベントをつくることができる。
- 他方面の問題を提起し、行動している人々とともにイベントをつくることができる
- 色々な人との活動の周知(活動している人同士もはじめて参加した人も)
- 色々な活動グループ、個々のネットワークが生まれる(出会う、つながる)
- アースデイから得た発想ヒントをそれぞれの生活に活かしていける
- 出店者同士来場者を出店者がつながる場となり活動の場を広がるキッカケとなる
- 観に来る方々が普段知らなかった情報を得られる
- 普段、小さな団体で活動して方々が広く皆に知ってもらうことできること
- 東京の美味しいオーガニックが集まる知れる食べられる

■今の社会のポジティブな面

- 新聞・テレビなどの大手マスコミの情報→個のネットワークの出現
- ピンチはチャンス!→　3.11で目が覚めた人が生まれてきた
- 気候の変化を身に染みて感じ、地域の人と環境問題を話題にするようになった
- 個人がSNSなどで情報を発信しやすくなってきた
- 個、家族の大切さ
- 仕事(会社)と自分の生活を切り離して自由に活動できるようになってきた
- 情報システムのおかげで地方に暮らしながら東京に事務所を持つことができる
- 情報システムのおかげで1人の人間がいくつもの仕事を持つことができる
- 情報システムのおかげで色々な人々の生活を瞬時に共感できる
- 「専門家」だけでなく、それぞれの人がもっている発想力や力、それぞれの地域にあるものを活かしてよりよいモノをつくっていく。
- 色々な活動の面白さ、多様なアプローチをお互い受容
- 子どもたち、今、未来の生活を想っていくこと(つなげていくこと)
- 若い方が環境について意識が高い人がツイッターやブログで発信している
- 少しづつ自然食を扱うお店が増えてきた。薬の副作用など、病気の本質を考える方が増えているように思う。
- 等身大(無理をしない)
- 若い人の家庭菜園など食とのかかわりが増えてきたこと
- 社会を自分たちで変えていこう!という気持ちの芽生え。選挙FES、選挙キャンプ
- 開かれたコミティーへ
- シェアリング
- シェアハウス
- 物々交換
- お互い様
- エネルギーシフト
- ダウンシフト
- 降りてゆく生き方
- 企業における環境含むソーシャル面での制約が根付いてきたことおよび社会企業家の動き
- サステナブルへの意識拡張
- 特に311以降、市民活動系のソーシャルとインターネット上のソーシャルが近づいて来たこと(一般市民の意識と行動の活性化と広がり)
- 復興とコミュニティー
- ソーシャルネットワーク技術・アイデア・環境の進展
- 技術の進化
- おかしなところをおかしいと言えるようになってきた。
- 横のつながりができてきた
- 経済だけに価値をおくという考えが壊れてきた。(本当の豊かさを求める人が増えてきた)
- 愛
- 生き方が変わった
- 脱原発って言えるようになった。
- 変化・回帰を求めている
- 土の大切さに気づいた人たちが増えた
- 人が集まる
- いろんなフェスが増えた
- 原発、放射能を勉強しはじめた
- 自給自足の方向に進む人が増えた
- 政治の新しい流れ
- 情報の広がり

- SNSでつながりを求められる
- 311以降多くの人が気づきはじめ動き出している
- 食・エネルギーなど『生きる根源』を考えはじめた人が増えた
- マスメディアを信じる人が減った
- 天ぶら油のリサイクル
- お金をかけるより手間ヒマをかける良さが見直されつつある
- ミニマリズムが熱い!
- ゴミのリサイクル分別
- 若者が発信しはじめてきた。
- オフグリット化
- トラジッションタウン運動
- 個人としての表現の場が増えた。ミクシ、フェイスブックなど
- 世界が近くなっている
- socialgoodへの評価、理解の拡大
- 環境に対して良いことするのは当たり前という意識
- できる人ができるときにやる形で協力していく合理性が浸透してきた
- ママも飲みいける
- 自由
- 情報を引き出してやすい、検索しやすい
- 金銭的に裕福
- 自分で選択さえすれば新しい生き方や働き方を手に入れられる(デジタルテクノロジー)
- 環境配慮型のテクノロジーの進化
- 市民がデモをする、異議申し立てををする社会になりつつある
- アースデイ東京がある(きっかけはあなたのすくとなりにあることに気づいてもらう場)
- 再生可能エネルギー、グリーン電力に少しづつ目が向いてきた
- 声を上げる人、学ぼうとする人が少しづつ増えてきた。そういうった機会、場も増えてきた。
- 昔からもっている日本魂
- 繊細さ
- 時代の変化が次々と起こる中でも、自分たちの力をハッキリし、未来への生き方を考える人が増えた。
- 人と人の絆が重視されている
- 子どもの頃から環境問題等に触れる機会が増えているかもしれない
- 元気に社会を変えよう、考えようという若者が増えてきた。
- 直感が効きやすい
- 世の中の仕組みを動かす人の中に環境問題に関心がある人が多いように感じる
- ネットが発達して、本当のことが受発信やりやすい
- わたしとわたしの家族とわたしの仲間がいる
- 人への基本的な思いやりがある
- 正しいことを正しいと言える世の中になってきた
- 企業のソーシャルアクションが増えてきた。
- 共産党の躍進
- 子育てへのパパの参加
- 社会の関心が高くなった
- つながりやすくなった
- ネット上のつながりシェアが増えた
- ネットでいろんな人とつながれる感じ
- すけたきた
- デモが普通になった
- 発信できる
- 311によって本当にしたいことを考える機会が生まれてきた
- 情報、マスコミだけでなく様々なソースにあたるよ

うになった。

- 昔の生活が見直されはじめた
- 価値感の多様化
- マナーの向上
- 絆
- モノよりも関係性が大事
- 文化が多様
- 環境に貢献する意識やビジネスが増えた。
- ネットが普及した
- 地方色が見える企画が増えてきた。
- 共通理解ができる人々の出会いが増した!
- 安全、女性が1人で外で歩ける。泥棒が少ない
- 人が親切
- 若い子どもには未来がある
- 悪い大人たちへ選挙をすすめた
- 情報の多様化
- 悪人が減ってきた若い人にPUREな人が多い
- 周りには子どもさんが多い
- 食べ物や水道水が比較的安心
- 放送電分離ができれば日本はスゴク良くなる
- コミュに呈の多様化
- 組織から個人へ
- 人がオープンになった
- 思いやり
- 文化、まだ受け継げる
- 大企業→中小企業個人商店、大都市→地方都市
- 起業しやすくなった
- お金持ちの高貴なたしなみが文化になり始めている(寄付など)
- 女性が活躍しやすい
- 農業が少し見直されている気がする
- 地域のことを考えるようになった
- 田舎の文化暮らし
- 情報の共有化が進んだ
- 知識、情報はやる気があれば何でも入手できる。
- 情報が簡単に手に入れることができる
- 問題が"見える化"されやすいインターネットで横のつながり、活動が広がる
- 同じ思いを持つ人たちがつながりやすくなった
- つながりやすくなった
- 音楽は楽しい!

